



JA長野厚生連安曇総合病院

きずな

第 278 号

発行所:〒399-8695
北安曇郡池田町池田 3207-1
TEL(0261)62-3166 (代)
JA長野厚生連安曇総合病院
発行責任者:院長 中川 真一
編集:きずな編集委員会
<http://www.azumi-ghp.jp/>

看護部の新体制について



看護部長 太田 泰子

この4月1日から、前薄井看護部長の後任として看護部長を務めさせていただくことになりました。

社会情勢は目まぐるしく変化し、特に医療をとり巻く環境は益々厳しくなっています。医師不足・看護師不足から医療危機・医療崩壊とまで言われる状況の中、看護部長という大役を仰せつかったわけですが、業務引継ぎを重ねる毎に責務の大きさ、重さを今更ながら痛感しています。

当院は、長野県厚生連の中でも佐久・小諸に次ぐ歴史ある病院です。先輩方により着実に積み重ねられた当院の良さを維持・継続し、また多く

の方々の支援を頂きながら、目標に向かってチャレンジしていきたいと考えています。

大きな目標として病院再構築があります。築40年を超える一般病棟(中病棟)は老朽化が進み、施設設備・療養環境面で患者さんにさまざまな点でご不便をおかけしています。

現在、院内では再構築に向けて具体的な検討が始まりました。患者さんの目線で考えることのできる、看護部ならではの提案をしていきたいと思えます。

看護部の理念は、「私たちは、地域の人々に安全な医療とホスピタリティ豊かな看護を、心を込めて提供します」です。



これらが実践できるよう看護師確保に努めた結果、昨年6月に7対1看護が取得できました。安全で質の高い看護の提供に欠かせないこの看護体制が維持できるよう、看護師募集を引き続き行っていきます。

新卒の方に限らず、一旦離職されている方でも、お気軽に声をおかけください。

院内保育所を完備し、また、復帰支援プログラムに沿って指導させていただきます。

安全で安心な医療を提供し、地域の皆さんに信頼され、選んでいただける病院を目指して努力致します。ご支援ご協力をお願い致します。

第4回緩和ケア

公開講座を開催

がん診療プロジェクト会議
緩和ケアチーム

花岡 孝臣

当院での緩和ケア活動は、がん対策基本法の理念のもと開始から早4年目を迎え、定期講演会として3月3日に第4回公開講座を開催しました。今回は、毎週月曜日朝7時50分から30分間、外来棟2階会議室で定期開催している緩和ケア学習会で、各職場からすでにご発表いただいた演題の中から、当会議が精選した演題7題を、より多くの職員への情報共有と、ケアの質の向上へ向けた学習活動の一環として発表していただきました。

忙しい中、総勢54名もの方々のご出席と大北医師会長にもご臨席いただき、力作ぞろいの発表ごとに濃い質疑応答がなされ、有意義な時間を過ごせたことに感謝します。いずれも、各病棟各所の優秀演題であり、ここに氏名を記し(有賀生幸さん、大西敦子さん、山田藤香さん、老野智江子さん、藤澤景子さん、西山照恵さん、横川玉枝さん、宮澤真妃美さん)栄誉を讃えるとともに、現場のリーダーとして今後のさらなる活躍を期待し

ます。

加えて、1階病棟・守屋智美さん発表



の「一般病棟における肺がん終末期にある患者様へのケア」が最優秀演題として選ばれ、各氏に表彰状が贈呈されたことを特記します。

十人十色の緩和ケアに正解などあるはずがなく、医療従事者として患者を失う直前までいかに真摯に親切に向き合えるかが大切です。キーワードとして、3つの視点(1.適切な医療か?、2.見捨てていないか?、3.新たながん難民を生んでいないか?)を問いかけてつづ、緩和ケアのスキルアップにつながることも、がん疾患が生命の存続において必然的事象であることを受容し、常に医療の情熱(使命感)が燃え尽きることをないうよう、職員はじめ患者家族の皆様と情報共有の場を整備したく思います。時間の都合で学習会を利用できない職員の皆様には学集会の内容をまとめたCDを自己学習用に貸し出すことが可能です。緩和ケアチームメンバーまで遠慮なくご連絡下さい。天候不順が続き体調を崩しやすい季節の変わり目です、皆様にはどうかご自愛くださいませ。

安曇総合病院病薬連携 懇話会開催

病薬連携懇話会世話人会

2月23日、当院で第2回安曇総合病院病薬連携懇話会を開催しました。この会は、当院と地域の病院・診療所、さらに保険薬局を含めた医薬の連携推進を目的にしています。当院職員と地域の保険薬局薬剤師を中心に43名の参加があり、「安曇総合病院の緩和ケアの実践報告」と題して、医師・薬剤師・看護師・在宅看護師からの実践・症例報告を行いました。緩和ケアは、痛みの緩和だけでなく心理面・社会面・精神面などへのケアも重要で、患者さんの『生活の質』を総合的に高められるよう今後連携を強化させていくことになりました。



診療報酬改定について

医事課 大日方 卓也

今年の4月に、2年に一度の診療報酬の改定が実施されます。

今回の改定率は、全体のプラス0.19%（診療報酬本体プラス1.55% 薬剤・材料マイナース1.36%）と実に10年ぶりのプラス改定となります。

今回の改定の主な視点としましては、明細書の発行の義務化による『医療の透明化』や、勤務医の負担軽減のための『チーム医療のスタート』や超急性期・急性期病院を評価した『小児科・救急・外科等の医療の再建』等が挙げられます。

これらの見直しによって、今まで医療費の負担金として窓口で患者さんから徴収していた金額が4月1日から多少変更することとなり、今までと同じ医療行為を行った場合でも窓口でお支払いいただいていた医療費に差異が生じる可能性があります。

当院といたしましたは、改定内容を理解し今まで以上に地域医療に貢献できる病院となるように取り組んでまいりますのでご理解とご協力の程よろしくお願ひ致します。



花粉症と食生活

栄養科 竹内 秀幸

今年も花粉の季節がやってきました。今年は花粉量が少ないようですが、やはり辛い花粉症。食生活と花粉症の関係を知っていますか？意外に関係のないような食生活も花粉症と関係があります。

近年、日本人の食生活の欧米化により、肉類の摂取量が増え、高タンパク質傾向になりました。元々欧米人と東洋人では、体のつくりが違い、東洋人が欧米型の食生活をしすぎると、花粉症・アレルギー体質になり易いといわれています。そこで花粉症の症状を緩和する食生活を簡単に紹介していきます。

肉類や卵類、乳製品に含まれる動物性タンパク質や脂肪は、免疫機能を高めるためにも必要な栄養素ですが、とりすぎは免疫機能の過敏を起し、症状がひどく出てしまうようです。花粉症が気になる季節は脂肪の多い肉類は避けて、魚や大豆製品を中心に食べましょう。

魚の中でも青魚に多く含まれているEPAやDHAと



いった栄養素は、アレルギー症状を抑える働きがあることが知られています。次にビタミン。ビタミンは体の機能をスムーズに働かせる上で欠かせません。特にビタミンB6は、免疫機能を正常に維持するのに必要で、不足するとアレルギーが出やすくなります。また花粉症の症状である鼻や眼のかゆみは、体内の活性酸素が増えることによるため、ビタミンCやビタミンA、ビタミンEなどの抗酸化作用のあるビタミンが有効です。ビタミンは野菜・果物に多く含まれる為、野菜を中心の食生活にして、動物性たんぱく質をとりすぎないバランスの取れた食事に気をつける事が重要となります。ここまでの内容から魚中心の野菜の多い、いわゆる昔ながらの和食がアレルギー対策、なおかつ生活習慣病対策にも理想的といえます。

また食生活だけではなく普段の生活リズムの乱れも影響します。睡眠不足・ストレス・食生活の偏りなどによる生活リズムの乱れが、自律神経を乱し免疫機能がスムーズに働かなくなるため、花粉症の症状が出たりひどくなったりします。もちろんこれは花粉症に限らず、風邪をひいたり、喘息が出たり、疲れ目がひどくなるなど、自分の弱い部分

に出てしまうのです。ですから自分の体の声をよく聞き、ひどくなる前に、生活を見直し体のケアすることが大切です。現在では花粉症症状を緩和させる「乳酸菌」・「ポリフェノール」を強化した機能性食品も多く商品化されています。ただし即効性はないため、損るとすれば花粉飛散前から気長に摂取するのがベストです。すでに花粉シーズン真っ只中ではありますが、食生活の見直しから花粉症対策を行ってみてはいかがでしょうか？

糖尿病教室

毎週
木曜日

時間
14:00 ~ 16:00

耳鼻科外来にて行っております。
予約不要・無料、中途参加でもOKです。
どなたでもお気軽に参加してください



地域の皆様からの声

最近の日常生活の中で気をつけていることは？という質問に様々な年代の方に答えていただきました。

☆花粉症のため、この時期になると毎年早めに耳鼻科を受診し、薬を内服している。花粉が気になり布団や洗濯物が外に干せなくなるのがつらいところです。
(50代 女性)

☆オリンピックのスピードスケート男子が大健闘！金のユニフォームがすごかった。欲を言えば金のユニフォームだけに金メダルをとってほしかったなあ・・・(笑)
(50代 女性)

☆この冬は、新型インフルエンザが流行っていたので日頃の手洗いやうがい、睡眠時間等に気をつけていた。バランスの良い食事もしたいが、一人暮らしのためそれがなかなか難しい。
(20代 女性)

☆腰を痛めてほとんど動けません。家族が親切にしてくれて嬉しい。先日も息子が仕事の合間に病院に連れて行ってくれました。そのときもカバンを持ってくれたり、ドアをひいてくれたりと気を遣ってくれました。その些細な優しさが嬉しく、幸せに感じています。
(90代 女性)

☆タバコの本数を減らそうと気をつけているが、やることがないと思うとついタバコを吸ってしまう。
(40代 男性)

☆景気が悪いから今度、雪が降ったら桜が咲くまで冬眠します・・・
(60代 男性)

☆何も用事のない日は一日中ジャージで過ごしている事があったが、いつの間にか太っていた自分に気づき、それからはきちんと着替えをしてジーパン等をはくようにしている。
(20代 女性)



トピックス・アズミ

▼3月16日、平成21年度前期・後期臨床研修医修了証書授与式が行われました。



お知らせ

◎平成22年3月第277号きずなにおいて、5月の土曜休診日の記載に誤りがございました。誤診療している土曜日15日ご迷惑をお掛けいたしましたことをお詫び申し上げます。

◎当院では、精神科・心療内科の診察を完全予約制で行っております。必ず前日までにご予約をお取りください。ご予約のお電話は、平日の午後2時～5時の間に精神科・心療内科外来までお願いたします。

編集後記

4月といえば入園式、入学式、入社式など新生活の門出を祝う月。新しい環境になれることや、新たに人と絆を築くことに対してウキウキしたり不安を感じたりすることが多いのではないのでしょうか？

私の部署でも新たに仲間が増えます。仲良く、信頼関係を築き、地域の皆さま方により良い医療を提供できるよう団結していきたいと思えます。今年度もよろしくお願いたします。

安曇総合病院理念 および基本方針

〈理念〉

私たちは、地域の皆さまの健康を守るため、親切で安全な医療活動につとめ、ホスピタリティあふれる病院づくりをめざします。

〈基本方針〉

- ① 医の倫理を守り全ての患者さんの権利を尊重し、平等で安全な医療・福祉サービスを提供します
- ② 地域のニーズに応じた緊急医療体制の充実を図ります
- ③ 地域医療機関と連携し、在宅医療を支援します
- ④ JA厚生事業を推進し、保健予防活動を通じて皆さまの健康増進に貢献します
- ⑤ 臨床研修に取り組み、信頼される医療人の教育育成につとめます
- ⑥ 文化・研究活動を積極的に展開し豊かな地域づくりに貢献します

当院は2004年に厚生労働省から臨床研修指定病院の指定を受けています

安曇総合病院臨床研修理念

- 1、医師として基本的な診療能力(態度・技能・知識)を身につけ、広い視野で医療ができることを目標とする。
- 2、患者に対し誠意を持ち心の通った診療ができる医師を育成し、医学の進歩と地域医療の発展に貢献する。

患者さんの権利と責任

「患者さんの権利」

- 1、最善で安全な医療を平等かつ公平に受ける権利
患者さんは、疾病の種類、社会的立場等に関わらず、良質な安全な医療を平等かつ公平に受ける権利があります。
 - 2、個人として尊重される権利
患者さんは、一人の人間としてその人格、価値観などを尊重され、尊厳をもって接されることも、自らの意見を述べる権利があります。
 - 3、十分な説明と情報提供を受ける権利
患者さんは、自分の病状、検査と治療方法や危険性、他の治療法、見通しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
 - 4、自らの意思で選択・決定する権利
患者さんは、自らの受ける検査や治療方法などについて、説明を受けた上で、自分の意思で選択・決定する権利があります。また、希望しない医療を拒否したり、医療機関を選択したりする権利があります。そのためカルテを含む診療情報の開示や他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります。
 - 5、個人の情報はプライバシーが守られる権利
患者さんは、自らの承諾なしに、診療の過程で得られた個人情報に第三者に対し、開示されない権利があります。また、病院内でのプライバシーが守られる権利があります。
- 『医療とのパートナーシップ』
良質な医療を実現するために、自らの心身あるいは生活について必要な情報をできるだけ正確にお知らせください。また、納得できるまで質問するなどして自らの疾病や医療内容を十分に理解してください。
検査や治療について、納得し同意した方針には意欲を持って取り組んでください。
すべての患者さんが快適な環境で医療を受けられるよう、病院内での規則と病院職員の指針を守るようご協力ください。病院職員による医療提供や、他の患者さんの診療に支障を与えないようご配慮をお願いします。

担 当 医 表

平成 22 年 4 月

		月	火	水	木	金	土
内 科	内科（一般） 初 診	岡田光代 平野 桂	東方壮男 鈴木彩子	川上裕隆 塩月記代	川上裕隆 福嶋敏郎	早野敏英 鈴木彩子	福嶋敏郎 平野 桂(第1週) 塩月記代(第3週)
	内科（一般） 再 診 (予約制)	川上裕隆 東方壮男 林田研介	川上裕隆 岡田光代 林田研介 福嶋敏郎 平野 桂(午後)	早野敏英 東方壮男	早野敏英 塩月記代(午後)	中川真一(9時30分~) 川上裕隆 林田研介	早野敏英 岡田光代
	循環器内科	東方壮男	池田宇一(信大)	東方壮男	持留智昭(信大)	東方壮男	
	呼吸器内科	岡田光代			福嶋敏郎	花岡正幸(信大) (第1・3・5のみ)	藤本圭作 (信大:第1のみ)
	神経内科	中川真一(9時30分~)	林田研介	中川真一(9時30分~) 受付は11:00まで	林田研介(10時~)	林田研介	林田研介
	血液内科		川上裕隆	川上裕隆			
	消化器内科		平野 桂(予約制)				
	専門外来 (信大医師)				一條哲也(肝臓) 上條祐司(腎臓)		信 大 (リウマチ・膠原病)
精 神 科 ・ 心 療 内 科	精 神 科 心 療 内 科 (予約制)	村田志保 中村伸治 古田 康 樋端佑樹 中村敏範 古屋昌宏 (信 大)	村田志保 中村伸治 古田 康(第2・4・5) 樋端佑樹(午後) 衛藤高明 中村敏範 古屋昌宏(午後)	村田志保 中村伸治 古田 康 樋端佑樹(第2・4) 衛藤高明 古屋昌宏(第1・3・5のみ)	交代制	村田志保 中村伸治 衛藤高明 古田 康 中村敏範(午後) 古屋昌宏(午後)	中村伸治 樋端佑樹 衛藤高明
	認知症外来		薛 孝太郎				
小 児 科	午前 午後	信 大 原 敏博	保刈 健 (原 敏博)	原 敏博 (保刈 健)	保刈 健 (原 敏博)	原敏博 又は 保刈健	信 大 (原敏博 又は 保刈健)
		特殊外来(予約)	乳児検診(予約)		慢性疾患(予約)	慢性疾患(予約)	
外 科	一般外科	佐藤敏行	佐藤敏行	佐藤敏行	信 大		佐藤敏行
	呼吸器外科	花岡孝臣			花岡孝臣		花岡孝臣
	形成外科		山口梨沙(信大) (13時から診療)				
	乳腺内分泌外科			信 大(乳腺) (完全予約制)		信 大(甲状腺)	
整 形 外 科 (受付10時30分まで)	最上祐二 王子嘉人 高梨誠司 柴田俊一 (受付9時30分まで)	谷川浩隆 狩野修治 柴田俊一 青木 亮 高橋 淳(信大)	最上祐二 王子嘉人 狩野修治 柴田俊一 青木 亮	谷川浩隆 王子嘉人 狩野修治 高梨誠司	谷川浩隆 最上祐二 高梨誠司 畑 幸彦(信大) 青木 亮 (輪 番)	(輪 番)	
皮 膚 科	河内繁雄 吉川美香	河内繁雄 吉川美香	河内繁雄 吉川美香 こども外来(15時~17時)	河内繁雄 吉川美香	河内繁雄 吉川美香	河内繁雄 吉川美香	
泌 尿 器 科	平林直樹	平林直樹 (午後から診療) (受付15時30分まで)	平林直樹 石塚 修(信大)	平林直樹 (午後から診療) (受付15時30分まで)	平林直樹	平林直樹	
産 婦 人 科	信 大	曾根原衛雄	信 大		信 大		
眼 科	太田いづみ	今井玲子		太田いづみ・今井玲子 (午後コンタクトレンズ要予約)	太田いづみ (受付10時まで)	今井玲子	
耳 鼻 咽 喉 科		信 大 (14時から診療)			信 大 (14時から診療) (第2・4土曜の前日のみ)	信 大 (受付11時まで)	
放 射 線 科	信 大			信 大			
麻 酔 科 (受付11時まで)	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	
リハビリテーション科	緒方洪之	狩野修治	緒方洪之	中川真一	柴田俊一		
歯 科 口 腔 外 科	中嶋 哲 酒井洋徳	信 大(午後)	中嶋 哲 酒井洋徳	中嶋 哲 酒井洋徳	中嶋 哲 酒井洋徳	中嶋 哲 酒井洋徳	

☆第1・2・4土曜日(3日・10日・24日)と、祝日(29日)は休診です。